

和地ひとみレポート No.78

東大和市・小平市・東村山市・国分寺市の4市長が緊急記者会見を実施

「西武鉄道 国分寺線・多摩湖沿線連絡協議会」を設置し、路線存続を要望



■3月29日4市長で緊急記者会見を実施

…私たち市民が日常の生活の足として利用している西武線。その西武線の本体である西武ホールディングスの筆頭株主の投資会社サーベラスが株式公開買付け(TOB)を実施するに当たり、西武鉄道の国分寺線・多摩湖線・山口線・多摩川線・秩父線などの廃止を求めているとの報道をうけ、国分寺線・多摩湖線沿線の小平市、東村山市、国分寺市、東大和市の4市により、鉄道路線の存続を強く求めることを表明する緊急記者会見を行いました。

…今回の記者会見では、市民の足である路線の存続を強く求める意見表明がなされたとともに、『西武鉄道国分寺線・多摩湖線沿線の地域社会の開発、住民福祉の向上等の地域振興を推進するために、鉄道沿線自治体として連携を図り、合わせて西武鉄道国分寺線・多摩湖線沿線都市の発展と鉄道利便性向上を促進することを目的とする』「西武鉄道国分寺線・多摩湖線沿線連絡協議会」を平成25年3月29日に設置したことが発表されました。

■公の器としての企業の姿勢と行政の関わり

…平成16年、西武鉄道をめぐる有価証券報告書虚偽報告事件が発覚し、オーナーだった堤義明氏が逮捕され、信用不安から経営破綻に追い込まれた西武グループ。その再生のために1000億円の資金支援に応じたのがアメリカの投資会社サーベラス。投資の条件として発行済み株式の過半数の保有を条件にする投資ファンドが多かった中、サーベラスは3分の1にも満たない32.4%に出資をとどめ、中長期的な経営再建に賛成の態度を取っていました。その後、経営再建を着実にすすめていた中での上場をめぐる騒動の中、今回のような路線廃止などの話が持ち上がっています。様々な報道がなされる中、大まかに言えば、西武ホールディングスが再上場を狙った際に、サーベラスの考えていた利益が確保出来ない状況となったことが今回の発端のようです。

…企業は言うまでもなく『公の器』としての社会的責任があり、まして鉄道という公共性の高い事業をしている西武ホールディングスの責任は大きなものです。サーベラスも投資会社とはいえ、収益性だけにとどまらず公益性の高い事業を行なっている企業の株主となることには一定の責任を感じなければ企業としての倫理は疑われると思います。

…一方で、住民、市民の福祉を守る役目の行政として、今回の意見を表明することは当然と考えますが、今回発足した連絡協議会の設置要項を見ると目的を達成するため行う事業は(1)地域振興に係わる啓発・広報活動、

(2)関係諸官庁に対する陳情請願
(3)西武鉄道に対する請願折衝(4)その他目的達成に必要な事項という内容に留まっています。
…資本主義経済で自由な経済活動が許されている中、その恩恵を受けている一方で、その悪影響も受けることはあります。しかし、市民の日常を脅かし、市民には選択肢の無いという状況になる今回の報道に対し、行政でも路線存続を請願するだけでなく、地域の発展のために積極的な取組みを行うなどの責めの姿勢の必要も迫られていると思います。今後の報道を見守りながらも、自分たちで出来ることは何かを行政が主導となり市民とともに行動を起こす必要があると考えます。

【4市緊急意見表明】

西武ホールディングスに対するサーベラスの株式公開買付けに伴う提案に関する小平市・東村山市・国分寺市・東大和市の緊急意見表明

西武ホールディングスの筆頭株主である投資会社サーベラスが株式公開買付け(TOB)を実施するに当たり、西武鉄道の不採算とされる5路線の廃止などを求めていることが報道されております。

この5路線には、小平市・東村山市・国分寺市の3市を通る国分寺線、東大和市を含め4市を通る多摩湖線、また東村山市、所沢市を通る山口線が含まれております。また、国分寺線小川駅や多摩湖線八坂駅・武蔵大和駅につきましては、小平市・東村山市に隣接する東大和市の住民も利用しております。

西武ホールディングスにおかれては、サーベラスの提案に対し反対を表明されたとのことでありますが、我々西武鉄道国分寺線・多摩湖線沿線連絡協議会を構成する沿線4市といたしましても、長年西武鉄道とともに発展し、今日の都市を形成したものであり、沿線住民の生命線として、これからも都心へのアクセスや沿線の観光の充実のため、西武鉄道の各路線は、欠かすことのできない公共交通機関として今後ますます充実・発展されることを期待しております。

サーベラスは、アイデアの一つに過ぎず、提案も要求もしていないとのことでありますが、公共性の高い鉄道事業に対し、こうした提案がなされること自体、大変遺憾なことと受け止めております。

以上、我々4市は、鉄道路線の存続を強く求めるものであることを表明いたします。

平成25年3月29日

西武鉄道国分寺線・多摩湖線沿線連絡協議会
小平市長 小林 正則
東村山市長 渡部 尚
国分寺市長 星野 信夫
東大和市長 尾崎 保夫